

教育事例②③

学生主体のeラーニングで自ら学び理解を深める

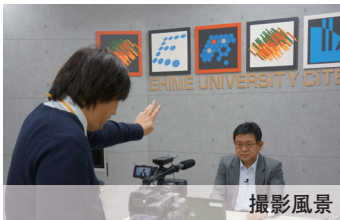
～教わる学習ではなく
学生自身で学び、考えるコンテンツ～

受け身ではなく 学生が自ら関わる学習スタイル

eラーニングを活用したきっかけ

これまでの大学の教育は、基本的に座学主体。一方的に教員が授業で説明し、学生がそれを聞くという受け身のタイプで高校の延長のような授業が多い中、社会共創学部を設置するときには、eラーニングのような新しい学習スタイルを導入しようということになりました。

これは、「反転学習」に少し近いのですが、学生自身で講義動画を視聴し学習ポイントを把握する。その上で教科書を読み、練習問題を解き、理解を深めるといったもので、今回これを活用し、学生の学習効果を確認してみました。



撮影風景

教材の特徴・工夫点

今の学生は、YouTubeなどを多く利用する動画世代と言えます。一方で、大学の教育は、依然として白板・黒板に書く授業が多く、動画をあまり使いません。それがいけないわけ

ではないのですが、学生は動画からさまざまな情報を得ることに慣れていないため、授業のコンテンツとして、著作権上問題のない動画を掲載し、学生がそれを見て理解を深められるように工夫しました。

学生への効果

普段、私たちが全部授業で教えてしまうと、学生は教科書を読みません。なぜなら、授業でパワーポイントを見せ、資料も配るため、学生は教科書を読む必要がないのです。けれども、このようにeラーニング上で教科書を提示すると、学生はそれを全部読まないといけません。この点では、本を読むという学習方法のトレーニングになるのではと期待しています。

eラーニングでやってみたいこと

大学では教員のポイント制を導入していることもあり、学生数は一定であるのに対し教員数は徐々に減り、その分、負担が大きくなっています。

例えば、理系の学生は安全衛生教育が必須で、現在、教員が対面授業を行っています。この授業は、言語で教えるよりも動画で見せた方が効果的です。また、対面での講義は、その時々で内容が変わる可能性もあります。学生が同じ動画を視聴し均質な内容を学ぶことも大事だと思いますので、その点で



eラーニングで自ら学ぶ力を育てる!

社会共創学部副学部長・環境デザイン学科
榎原 正幸 教授

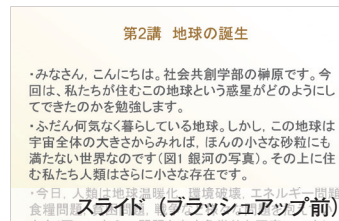
も、ぜひ、eラーニングを取り入れたいと考えています。

本学へ来る前に安全衛生教育を学習してもらい、本学で再度学ぶことで、より効果的になると思っています。

今後、ICTのこんなものを取り入れたい

大学として取り組んでほしいこととして、本格的に「教育コンテンツ・アーカイブ」のようなものを残さないといけないと思っています。お辞めになる先生もおられますし、その時にその先生にしかできない講義を、アーカイブとして、しっかり残してもらいたい。

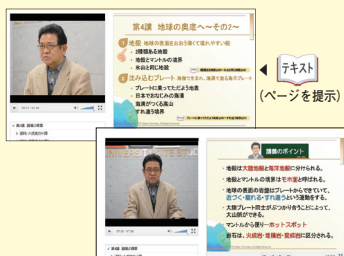
本学だけではなく、他大学と連携しても良いですね。そのようなものを蓄積して教育に取り入れていくことは、これから大学がおかれる状況において、とても大切ではないでしょうか。



また現在、理工学研究科と農学研究科の留学生が特に増えており、その留学生に対しても、「プレ留学」と言いますか、

「地球科学」で活用されたeラーニングコンテンツ

ポイント1 学習内容を確認するための動画を視聴



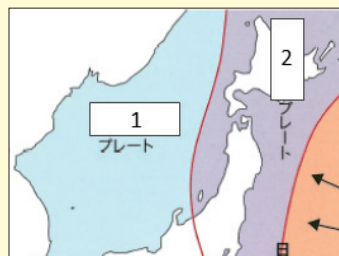
▲スライドで教科書のどこをどのように学習すべきか、内容とポイントを講義動画で解説

ポイント2 理解を深めるCGや映像



▲視覚的にイメージできるように、講義に関連するCGや映像(著作権フリー)を掲載

ポイント3 練習問題、中間・期末テスト対策問題



▲各講の練習問題で成果を確認。対面での中間・期末テスト対策問題にも活用

講義動画

第2講の講義内容と講義のポイントについての動画説明で

【映像】太陽系の誕生 CG・映像

映像：NHKクリエイティブ・ライブラリーより46億年前、宇宙空間を舞うガスやちりが、互いの重力で母天体太陽は、小さな天体を重力で引きつけ合体し、成長。微惑星と呼ばれる小天体が生まれ、やがて惑星へと成長し

第2回練習問題

練習問題

上記のテキストの範囲内から練習問題を出题しています。練習問題は、評価80%以上で合格です。80%になるまで解答期限は、6月24日(金) 16:20までとします。

以下の1件のレポートを提出しない!

レポート課題

レポート課題

期末テスト対策問題

期末テスト対策問題

▲Moodleコース「地球科学」